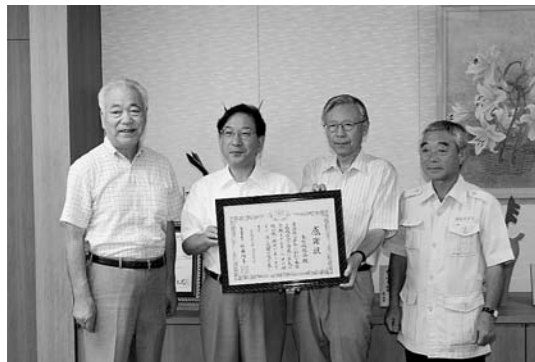


まち Topics トピックス

地域の発展に尽力

9月1日、本町復起会（しづきかつしげ 渋木捷成会長）が「新”うつくしま、ふくしま。”県民運動知事感謝状」の受賞報告に訪れました。

この感謝状は、「地域コミュニティの再生」などに5年以上取り組み、地域に貢献した個人、団体に贈られるものです。同会は、平成15年から地域の活性化のために活動を続けており、その積み重ねた功績が認められ、受賞されました。



東地域で収穫の喜び響く

9月18日・19日、鈴木勝美さん（東下野出島）は、神奈川県大和市の「田舎を楽しむ会（わたなべのすずみ 渡辺靖夫会長）」のメンバー親子40人と稲刈りとそば打ち体験の交流を行いました。

同会では、東地域の自然の素晴らしさと食の美味しさに惚れ、毎年農業体験を実施しており、今年は初めて稲刈りに挑戦しました。秋空に、メンバーの収穫の喜びの音が響き渡りました。



▶ゲストランナーの星創太選手（前）



1,054人が田園コースを堪能

9月18日、東地域で、「第9回白河市ひがし郷里マラソン」が開催され、1,054人がのどかな田園コースを楽しみました。

この大会は、前大会に走ったりリピーターのランナーが多く見られ、今回も参加したランナーは「温かい声援と整備された環境で、またこの地で走ってみたいと思います」と笑顔で大会の様子を話してくれました。



「がんばる後継者支援事業」

9月16日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で、「しらかわ農業未来塾開講式」が行われました。未来塾では、市が県やJA（農業協同組合）と連携して、農業後継者の計画的な育成・確保を図るため、農業経営の講座や視察研修、外部講師による勉強会を開催します。また、開講式後の「明日のしらかわ農業を語る集い」では、市長と農業後継者との意見交換が行われました。



祝！白河橋、待望の完成

9月13日、新しい白河橋の渡橋式が行われました。これまで国道4号の交通混雑解消を目的として、4号の拡幅事業が進められており、このほど下り線の新しい白河橋が完成しました。

式では、鈴木市長と鎌田一幸郡山国道事務所所長がさくら保育園の園児たちと橋名板を除幕しました。また関係者がテープカットを行い、続いて参加者が渡り初めをして、開通を祝いました。

新しい橋の長さは148m、幅員が10.5mあり、橋の開通により、渋滞の緩和や安全の確保などの効果が期待されます。これまで利用されていた白河橋は取り壊され、引き続き上り線の架け替え工事の拡幅事業を進めていきます。

米粉パンはおいしいかな！

昨年度から、米粉の利用促進の一環として、東地域において試験的に導入していた米粉パンの学校給食を、9月からは市内の全小中学校に対象を拡大しました。

9月7日、白河南中での第1回目の米粉パン給食に鈴木市長も同席し、生徒たちと一緒に、もちもちとした食感の米粉パンをほお張りながら味わっていました。



新たに2品目が白河ブランドに認証

8月28日、市役所で、「白河市農産物ブランド認証書交付式」が行われ、新たに2つの産品が認証されました。認証された産品は、白河農協高品質トマト有機栽培研究会の「高品質トマト」、石井養鶏場の「あおぞら 碧空たまご」です。認証産品は、今回を含めると9品目になりました。これらの認証産品は、「白河市農産物ブランドマーク」を付けて販売されます。